



信州アーツカウンシル2024パレード フィナーレ!!



信州アーツカウンシル
2024 パレード
文化芸術と共創
ーとものつくるムーブメントー
in 長野
Nagano City



CULTURE.NAGANO
信州アーツカウンシル 2024
パレード・とものつくるムーブメントー
【総集編】

「信州アーツカウンシル2024パレード」フィナーレを飾るのは長野市!2月5～11日の1週間にわたり、県立長野図書館では信州アーツカウンシル活動紹介展示やオープンカウンシルvol. 4「文化のソーシャルワーカーをめぐる」、長野県庁ではオープンカウンシルvol. 5「【〇〇×文化芸術】を県庁で話し合う座談会」、ホクト文化ホールではクロージングイベントの開催などを通じて多くの方に信州アーツカウンシルの3年間をお伝えすることができました!またパレードの一環として1月26日に飯田市で実施した「第3回南信州民俗芸能フェスティバル」、加えて3月1日に安曇野市で開催した「祭り芸能の担い手座談会」についてもレポートします

Photo by 安徳希仁

1-3月パレード 日程

- 1.26 飯田市県文化センター
第3回南信州民俗芸能フェスティバル
- 1.31 まるはち旅館
短編芝居「新野物語」阿南町公演
- 2.1 片倉館 1 階中広間
短編芝居「新野物語」諏訪市公演
- 2.2 満留八総本店
【もんぜん千年祭 連携企画】
短編芝居「新野物語」長野市公演
- 2.5-2.11 県立長野図書館 3F 信州・学び創造ラボ／くらしふと信州
信州アーツカウンシル2024パレードin長野市
活動紹介展示／Shinshu Arts-Climate Camp展示
- 2.5-2.11 R-DEPOT
秦雅則 写真展「PARALLEL MIRROR」
- 2.5 県立長野図書館3F 信州・学び創造ラボ
オープンカウンシル! vol.4「文化のソーシャルワーカー」をめぐる～越境する文化芸術の機能」
- 2.7 長野県庁西庁舎 110号会議室
オープンカウンシル! vol.5
「【〇〇×文化芸術】を県庁で話し合う座談会」
- 2.7 長野県庁西庁舎 110号会議室
旅する信州アーツカウンシル・コワーキングDAY
@長野県庁
- 2.11 ホクト文化ホール
パレード・クロージングイベント
- 3.1 安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール
オープンカウンシル! vol.6「伝統文化がつなぐ新たな
関係・世代・地域～祭り芸能の担い手座談会」

// VOICES //

登壇者・参加者の声

2024年度の締めくくりとなるパレードin長野市を中心にイベントに登壇いただいた方の印象的な声を集めました。



オープンカウンシル! vol.4より

ほっちのロッジはケアの文化拠点という言葉を使っている。サーカスのときに実感したのは、医学の物差しでは弱い存在がアートの物差しだと強い存在になる、ということ。
紅谷浩之(医療法人社団オレンジ)



パレードクロージングイベント マイクリレーより

今日は晴れて卒業式。信州アーツカウンシルからは色々ヒントをもらいつつ、横のつながりを強め活動が続けることができた。今後は自分たちの足でも歩けるよう活動を続けていきたい。
矢萩美里・分藤香(おやこのカラダ)



オープンカウンシル! vol.5より

文化芸術は効果の数値化がしにくく、評価が難しい面があるが、評価しにくい文化芸術の効果こそ、様々な人が一緒にゴールに向かって歩み社会を変えるうえで必要になるのでは。
高橋潤(公益財団法人長野県みらい基金)



祭り芸能の担い手座談会より

地道に祭りについて学び活動を重ねていくことで野朗会が存在が認められ、祭りの中心的な役割を任せられるように。担い手が一番祭りを楽しむという姿勢で活動ができるようになった。
木下隆彦(木沢霜月祭り野朗会)



2.5
wed

オープンカウンシル! vol.4 『文化のソーシャルワーカー』をめぐって ～越境する文化芸術の機能

医療、図書館、まちづくりに携わる3名を迎え、信州アーツカウンシルのコーディネーターの役割を起点に、それぞれの専門的な視点から「文化のソーシャルワーカー」について意見を交わす時間となりました。

オープンカウンシル! vol.4では、軽井沢で在宅医療を行っているほっちのロッヂの医師紅谷浩之さん、県立長野図書館長の森いつみさん、長野県内の空き家を通じた地域づくりの研究を行っている東京大学の新雄太さんを招き、それぞれの視点から「文化のソーシャルワーカー」について話題提供をいただきました。

紅谷さんからは、地域医療の現場では病気の治療だけでなく暮らしそのものを支えるケアが重要で「ケアする・される」だけでなく「ケアするとケアされるの循環」が必要だというお話がありました。森さんからは図書館は本の提供だけでなく、地域の知と人をつなぐ場として変化し、デジタルアーカイブなどを通じた学びと対話の拠点となっており、司書は地域社会を未来につなぐ「文化資源コーディネーター」の役割を担っていく存在だというお話がありました。最後に新さんからは空き家再生を通じた地域づくり事例紹介があり、研究の中で調査をオープンにしたことで機会そのものがソーシャルワーカーの役割があったと話されました。

ディスカッションでは文化だからこそできることについてや、高い専門性がケアの循環を止めてしまうジレンマなどが話されました。今後、別の形で記録を残していきたいと思います。



医療法人社団オレンジ 紅谷浩之さん



県立長野図書館 森いつみさん



東京大学 新雄太さん



吉本光宏さん(文化コモンズ研究所)を交えてディスカッション



2.7
fri

オープンカウンシル! vol.5 【〇〇×文化芸術】を県庁で話し合う座談会

文化芸術を媒介に様々な分野が協働・共創する「〇〇×文化芸術」の実践者として、長野県や信州アーツカウンシルの事業に関わりをもつパネリストの皆さんと活動をご紹介いただき、文化芸術との共創の可能性についてフランクに語り合いました。

オープンカウンシルvol.5では「文化芸術を媒介にした協働・共創」に取り組む上でパートナーとなる、様々な分野のプレイヤーをお招きしてディスカッションを行いました。一般社団法人ナナイロ(松本市)の中山拓郎さんは、松本市内を中心に県内各地のまちなかで一般市民と障がい者のアートが出逢う機会を生み出す「対話アート NAGANO WEEK」の取組、障がい者を受け入れるインクルーシブな社会づくりの活動について紹介。正しい間違っているか言えないアートを通して障がい者の表現と触れる機会の大切さを語りました。

(公財)長野県みらい基金の高橋潤さんは、寄付金や休眠預金などの財源でNPOの活動を支援するなかで、文化芸術が居場所を求める人々を繋ぐ事例について紹介。文化芸術は、変化やインパクトの評価を数字で示しづらいが、確実に効果がある方法なのでどうやってこれを示せるかを共に研究したい、と述べました。

NPO法人上田市民エネルギーの藤川まゆみさんは、気候変動や環境に関わる問題に関わる取組について紹介した上で、多くの市民が自分ごととして興味をもって参加する接点として、文化芸術がもつ発信力や楽しさが重要であることを述べました。



一般社団法人ナナイロ 中山拓郎さん



公益財団法人長野県みらい基金 高橋潤さん



NPO法人上田市民エネルギー 藤川まゆみさん



2.5
2.11
tue

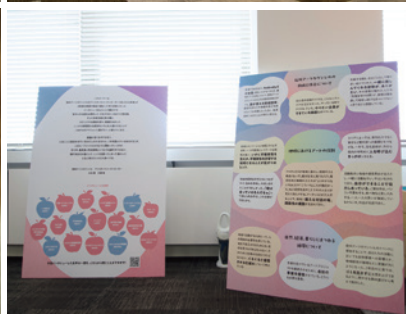
信州アーツカウンシル活動紹介展示 @ 県立長野図書館 + Shinshu Arts-Climate Camp 展示@くらしふと信州



県立長野図書館 信州・学び創造ラボ



くらしふと信州での展示



県立長野図書館3階「信州・学び創造ラボ」では、2月5日～2月11日にわたり信州アーツカウンシル活動紹介展示を行いました。普段は勉強やテレワークで利用されているスペースに信州アーツカウンシルの3年間で振り返ることができるパネル展示のほか2024年度に助成した36団体の皆さんからも展示品をご提供いただき展示会場を賑わせました。

また2月中はくらしふと信州でShinshu Arts-Climate Campの展示も行いました。

2.11
tue

パレードクロージングイベント

2024年6月から県内各地を巡ったパレードのフィナーレ! 伝統文化おやこ体験フェスタやMIKUSA MEETING、担い手たちによるマイクパフォーマンスなど多くのみなさまの新たな交流の機会となりました。

伝統文化おやこ 体験フェスタ



伝統文化公演



南京玉すだれ



段ボール獅子舞



木曾踊り



和太鼓

NPO法人ふるさと芸能研究所(伊那市)と木曾踊り保存会(木曾町)を招き、親子で南京玉すだれ、和太鼓、ダンボール獅子舞、木曾踊りなどの伝統文化ワークショップを体験。その後、ステージに移動して田楽座による伝統文化公演の鑑賞や全員参加で木曾踊りも行いました。



MIKUSA MEETING



「KIMIYA SATO MIKUSA BAND」のコンサート。2021年以降、南信州をはじめとする県内の民俗芸能の現場を訪れ、稽古に参加し、お祭り本番に立ち会った上で、創作した楽曲を中心に演奏しました。周辺には竹や幟布、円形のオブジェが飾られ、ステージと客席の間にお立ち台が置かれて、舞台になったり、輪踊りの櫓になったりしました。

今回の会場は、通常の固定客席はステージの背景として使う、「逆づかい」の大胆な空間使いでした。

(曲目)

- | | |
|-----------------|---|
| 『ウタイゾメ』 | 松本に伝わる木遣りを参考に作曲された木遣歌と、前口上 |
| 『シモツキ』 | 2021年、コロナ禍の中天龍村大河内の「霜月神楽」の伝承に携わっている田楽座(伊那市)からレクチャーを受け学んで制作。 |
| 『庭入り』『ヒツチキ』『和讃』 | 2022年度、阿南町和合の念仏踊りに稽古から参加して制作。鈴木彩華さんのダンスと競演した。 |
| 『ウスラビ』 | 2023年信毎メディアガーデンでの『MIKUSA MEETING』でワークショップの踊りと併せて上演した曲。 |
| 『大輪』 | 2024年度、阿南町「新野の盆踊り」と、松本市「ぼんぼんの歌」を参考に作曲。鈴木彩華さん、二瓶野枝さんが、輪踊りの振付を担当。 |

展示

これまでのパレードの映像や主催事業に関する展示のほか、アシスタントコーディネーターによる助成団体のヒアリングをまとめたパネルを展示。また、大きな幕のエリアマップでは、3年間の助成団体&主催事業を、色とりどりのピンや写真などから振り返ることができ、信州アーツカウンシルの3年間のぎゅっと詰まった展示となりました。



マイクリレー



2024年度に助成事業で支援した30団体以上が集まって、それぞれの活動を紹介するマイクリレーを行いました。真ん中のお立ち台で、パフォーマンスや余興的な出し物をする団体、真剣なスピーチをする人、自分の座席で立って話す人、庭か境内でのゆるい寄合のような感じもありました。3年継続の団体は今年度で助成が一旦終了、ということで、支援への感謝を述べる声が多くありました。

最後に津村AC長が登場し「アーツカウンシルをきっかけに集まった皆さんが、本当に交流している。コラボレーションが始まっている。点と点が線になり面が立ち上がっているのを見た感じがしました。ここにいる子どもたちが育った未来に、住んでよかったと思える地域に、アートの力を使ってしていけたらと思うので、これからもよろしくお願いします」と締めました。

3年目、信州アーツカウンシルの活動の形を示すために、駆け抜けてきたこの1年。この場所で互いに知り合う人たち同士もあり、ひとつの区切りであり、始まりでもあるような時間が流れていました。



パレード in 長野×もんぜん千年祭連携企画

NAGANO ORGANIC AIR 阿南
短編芝居「新野物語」長野市公演
[満留八総本店]

2.2
sun



阿南町新野の盆唄に着目し、劇作家・俳優の山田百次さんが新野の死生観にユーモアを織り交ぜて創作した短編芝居『新野物語』は、2021年に滞在制作を行った作品です。阿南・諏訪・長野の県内縦断ツアー最終公演が善光寺門前、老舗料亭満留八総本店の能舞台で行われました。百次さん演じる忠助が息絶えた直後に、外から、寺の鐘の音が響いてくる…というミラクルな締めくくりとなりました。

NAGANO ORGANIC AIR 大鹿
秦雅則 写真展「PARALLEL MIRROR」
[R-DEPOT1F]

2.5
wed
2.11
tue



写真家の秦雅則さんは2023～24年に滞在を重ね、大鹿村住民と協働して大鹿歌舞伎の写真集作りを行いました。オートフォーカスカメラと使用期限が切れつつあるフィルムで様々な人が撮影した写真群は、ズレた時間感覚と異世界の趣きの不思議な存在感。古道具が並ぶ「R-DEPOT」のフロアを会場に、鏡や額縁と写真、制作過程のメモ等が展開された複層的な展示となりました。

もんぜん街中トーク「〈まち〉の現在と未来:宮本忠長アンビルト計画と長野西後町マッププロジェクト」
[R-DEPOT 2F大会議室]

2.8
sat



建築家・宮本忠長が1990年代に描いた長野市中心部の都市計画構想と、信州大学の大学院生が独自の視点で調査・構成したマップをきっかけに、空き家再生による街づくりに取り組んでいる倉石智典さん(長野市)、赤羽孝太さん(辰野町)が対談。ひとつひとつ個性や来歴をもつ空き物件の次の物語を思い描き、それらがより合わさった未来の街を、楽しく想像する2人の対話に聞き入りました。

1.26
sun

南信州民俗芸能パートナー企業 Presents 第3回南信州民俗芸能フェスティバル



柿落しや開幕に舞われる「三番叟」。国・県の無形文化財となっている7つの芸能が南信・東信から集結し、歌舞伎、能、人形芝居、それぞれのかたちの三番叟が紹介されました。



講演「式三番と三番叟」小川直之
大鹿歌舞伎 三番叟(下伊那郡大鹿村)
湯原神社式三番(佐久市)

YouTubeライブ配信
アーカイブ動画はこちら



プログラム

【第1部】

講演「式三番と三番叟」小川直之
大鹿歌舞伎 三番叟(下伊那郡大鹿村)
湯原神社式三番(佐久市)

【第2部】

解説「信州の三番叟」櫻井弘人
親沢の人形三番叟(映像上映)(南佐久郡小海町)
古田人形 三番叟(上伊那郡箕輪町)
早稲田人形 三番叟(下伊那郡阿南町)
黒田人形 三番叟(飯田市)
今田人形 二人三番叟(飯田市)
講評 笹本正治、宮田繁幸

3.1
sat

オープンカウンスル! vol.6 伝統文化がつなぐ新たな関係・世代・地域～祭り芸能の担い手座談会



長野県を中心に様々な祭りの担い手が集まった座談会。前半は、岩原山神社お舟祭りや木沢霜月祭り、三陸国際芸術祭や全国の祭りに関する事例紹介が行われました。後半では、担い手不足や継承などの課題に対する取組について共有しました。話の中では、担い手を外に開き、伝統を現代に合わせて変化させることや、子どもが祭りに触れる場づくりの重要性なども語られ、信州の祭り芸能の未来を考える上でも学びの多い場となりました。

プログラム

■ 事例発表

- 岩原祭典保存会 尾日向和孝 三枝修
- 木沢霜月祭り野郎会 木下隆彦
- (公社)全日本郷土芸能協会 小岩秀太郎

■ 座談会

【登壇者】尾日向和孝・三枝修、木下隆彦、中山洋介(田楽座)、近藤大知(飯田市美術博物館)
【モデレーター】小岩秀太郎、野村政之

■ 結び

- 南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー 櫻井弘人、笹本正治
- 長野県県民文化部文化振興課



レポート記事はこちら

信州アーツカウンシル
2024 パレード
ーとものつくるムーブメントー
Shinshu Arts Council 2024 "Parade"

2024.6.15 ▶▶▶ 2025.2.11

- 6.15 はじまりの交流会@伊那文化会館
- 8.4-23 アーティストと文化施設のこれから@茅野市民館ほか
- 11.2-3 ケアのクリエイティビティ@上田市サントミューゼほか

特設サイト
はこちら▶



- 11.16/1.26 伝統文化と豊かな暮らしをつなぐ@南信州エリア
- 文化芸術と共創ーとものつくるムーブメントー @長野エリア



信州アーツカウンシル 2024 パレード
ーとものつくるムーブメントー【総集編】
動画はこちら

主催:信州アーツカウンシル(一般財団法人長野県文化振興事業団)、長野県



令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業